

KSKS かがやき



ひかり福祉会広報 vol.86 2013 弥生号



手作りジャム（写真左）
[セルフひこね]



長浜バイオ大学にて
パン販売（写真右）
[ひかり園]

◆連絡先◆

〒526-0822

滋賀県長浜市鳥羽上町68-1

ひかり福祉会 法人事務センター
(TEL: 0749-63-5711)

e-mail info@hikari-welfare.net

URL <http://www.hikari-welfare.net/>

◆編集人◆

社会福祉法人

ひかり福祉会 後援会

障害者自立支援法違憲訴訟提訴から4年…

誰もが社会の一員として暮らせる社会の実現にむけて

私たちがあきらめない！

私たち
あの日を忘れない：

とりくみなどが確認されました。

障害者自立支援法違憲訴訟原

告団・弁護団は、「障害者自立支援法は障害のある人の権利を侵害する違憲な法律」として全国14地裁・原告71名が提訴しました。

滋賀県では大津地裁に、5法人から8名、そのうちひかり福祉会からは4名の利用者の方が原告として、提訴されました。

原告の皆さん・そのご家族の皆さんは、勇気を振り絞つていただき、大津地方裁判所での意見陳述や東京・大阪での集会などに、多くの仲間やご家族・関係者の思いをもって参加してくださいました。提訴から4年、原告団・弁護団と国との「基本合意」を交わし、和解してから3年が経ちました。

そして今年1月7日、基本合意締結3年の集会が東京で開催され、ひかり福祉会から元原告とともに参加され「意見書」や補佐人のお母さんと支援者が全国各地から集まり750名の方たちあたつての目標と、これからのお話を「要請書」、「わたしたちのさし

私たちは、この「基本合意」を掲げて、応益負担と自立支援法の完全廃止をめざし、障害者権利条約の水準にかなった新法の制定を目標に「総合支援法3年後見直し」の状況にも十分注意を払いながら、引き続き運動を広げていくことが決められました。そして、運動の柱として…

①障害者総合支援法の施行内容の総点検

②「骨格提言」の全面実現の立場での「3年後の見直し」

③広範な団体や市民と連携・協力した運動を進める



1・7集会に
参加して：

過去のことにして、まさしく『これから』結成してから3年の月日が経ちましたが、全国の皆様のエネルギーは十分に感じられました。

ひかり福祉会でも、元原告・補佐人のご家族とともに、その輪をさらに広げていく運動を進めしていく決意をしています。多くのみなさんに、これから取り組みに対し「支援」「協力をよろしくお願ひします！」

【話手】 森本義彦（セルプひこね）

【聞き手】 別府春香（セルプひこね）

小野幸弘専務理事

でも再提訴をする決意であると話しかわれました。



障害者総合支援法に骨格提言がほとんど反映されていない！
みんなの思いが詰まった骨格提言がしっかりと反映された制度になるまで私たちは諂めない！



障害者自立支援法を廃止し、新しい法律をつくるために、障害のある人の意見をまとめた「骨格提言」ができました。しかし、新たに出来た障害者総合支援法は、内容を少し変えただけで、骨格提言の内容をほとんど取り入れていなかった。利用料を払わなければ

第36次国会請願署名に ご協力をお願いします！

ればならないことや、障害程度区分で利用できる支援が限られるなどの問題は何も解決していないままになっています。障害があることを理由に当たり前の生活が出来ない状況は続いています。それでも、私たちは骨格提言を実現するために粘り強く運動を続けていく必要があります。今回の請願項目は、骨格提言の実現を求めるものです。

届けた請願署名は国會議員を通して話しあわれ、そして全ての国議員が集まる本会議で採択か、不採択かが決まります。採択されれば、法律や制度に請願項目を活かすため、国会や内閣が責任を持つて取り組むことになります。障害当事者、家族、関係者の思いを理解していただき、実現するために多くの署名が必要になります。署名用紙につきましては、お近くの事業所（P8参照）にありますので、「ご協力をお願いします。

ければならないことや、障害程度区分で利用できる支援が限られるなどの問題は何も解決していないままになっています。障害があることを理由に当たり前の生活が出来ない状況は続いている。それでも、私たちは骨格提言を実現するために粘り強く運動を続けていく必要があります。今回の請願項目は、骨格提言の実現を求めるものです。

届けた請願署名は国會議員を通して話しあわれ、そして全ての国議員が集まる本会議で採択か、不採択かが決まります。採択されれば、法律や制度に請願項目を活かすため、国会や内閣が責任を持つて取り組むことになります。障害当事者、家族、関係者の思いを理解していただき、実現する

骨格提言における提言項目と障害者総合支援法案の関連整理 (総合福祉部会・佐藤久夫部会長)

《障害者総合福祉法の骨格に関する提言が示した60項目の成績表》

× まったく触れられていない項目	48項目
△ 検討されてはいるが、その内容が不明確な事項	9項目
○ 不十分ながら取り入れている事項	3項目

障害のある人もない人も

わけへだてのない社会を

請願項目

- ①障害者総合支援法を「障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言（骨格提言）」にそって見直してください。特に、地域生活を送るための支援にかかる費用については、原則無料にしてください。
- ②障害者関連予算について先進国の平均レベルまで拡充してください。

施設外就労を始めて…

「リフレかやの里」に行つてきました！

友愛ハウス・ワークセンター
紹では、株式会社 長浜合同青果様より野菜の計量・梱包の作業を頂いております。

当初はじやがいも30～40箱程度の作業を頂いても出来ずに返却していた事もありましたが、ここ2～3年は作業量も増え、じやがいもで1日100箱以上をこなせるようになりました。

しかしそうなつてくると納入や納品に逆に時間を取られ、朝一からの作業にかれず、また納品時間も早めに行かなければならぬという負の連鎖が発生するようになりました。

長浜合同青果様では、当事業所と取引を開始する以前から出向事業という形で他の就労支援事業所も受け入れておられましたので、1年ほど前から社長の垣見様に当事業所も出向事業としての受け入れを検討していました。だけないかと要望したのが始まりでした。そして今年1月7日より念願が叶い市場内のテナント空きス

1月28日雪の降る日「地域づくり（ひかり福祉会専門部会）」のメンバー7名は京都・よさのうみ福祉会の事業所（リフレかやの里）へ見学研修を行つきました。

京都府でも日本海側に位置するこちらの施設、大変のどかなところです。福祉を産業のひとつと考え、外貨を稼ぐことをひとつ目標として第3セクターの運営で失敗し廃館となつていた場所を再興されました。町ぐるみの取り組みとして大きな展開をされており、取り組みを書籍にまとめられるなど大変話題になつてている施設です。

森のレストラン（A型事業所）
お風呂（A型事業所）
森の宿（A型事業所）
ハーブ園
●栽培、鑑賞ほか
農産加工所（B型事業所）
●ジュースやジャム加工所
農産物販売所（B型事業所）
●野菜や手芸品の販売
ベーカリーひだまりの丘（B型事業所）

森のレストラン（A型事業所）
●ランチ、ビュッフェ
●大浴場、綿湯、ハーブ湯、ミストサウナ
●宿泊施設
最初に訪れた森のレストランで



（障害者支援センターそら）

は、暖炉で暖かいロビーは素敵に居心地の良い空間で、客商売としての雰囲気作りは大成功しています。向ふにあたつて福澤会の発展だけではなく、地域全体の暮らし向上を頭に置いた事業を進めています。お話を感銘を受けておられるというお話を聞くと、その地域になくてはならない場所、取り組みとして成長しつつ、地域に頼りにされる法人を目指す！という地域がけるなど細部に気を配られています。森の宿では研修プラン、女子会プラン等の宣伝をしてお客様の工夫をされています。農産加工所では農家から納入された原料（野菜や果物）をひとつの目標として第3セクターの運営で失敗し廃館となつていた場所を再興されました。町ぐるみの取り組みとして大きな展開をされており、取り組みを書籍にまとめられるなど大変話題になつてている施設です。

家と協働で仕事を進めておられます。ゴミを出さない（リサイクル）、清潔管理という点は徹底されており、農産物販売所地元産の野菜や自慢の名物を販売しています。ゴミを出さない（リサイ

クル）、清潔管理という点は徹底されており、農産物販売所地元産の野菜や自慢の名物を販売しています。ゴミを出さない（リサイクル）、清潔管理という点は徹底されており、農産物販売所地元産の野菜や自慢の名物を販売しています。ゴミを出さない（リサイクル）、清潔管理という点は徹底されており、農産物販売所地元産の野菜や自慢の名物を販売しています。ゴミを出さない（リサイ

くら）は、こちらの法人では、事業を興すにあたつて福澤会の発展だけではなく、地域全体の暮らし向上を頭に置いた事業を進めています。お話を感銘を受けておられるというお話を聞くと、その地域になくてはならない場所、取り組みとして成長しつつ、地域に頼りにされる法人を目指す！という地域づくりの力を存分に発揮しておられます。かえりみて、では自分たちができるだろう。このように考えます。これまで地域に対し、おえがた時、今までは地域に依頼する姿勢ばかりが目立つていたのではないかと反省の気持ちを抱いたものであります。これから視点を定め直し、願いや協力を依頼する姿勢ばかりが目立つていたのではないかと反省の気持ちを抱いたものであります。これから視点を定め直し、身近な地域がどんな課題を持っているかをあらためて抽出し、一緒に解決できる方法はないか探つていくような取り組みをしたいと思います。大和久郁子（障害者支援センターそら）

ペースを利用して頂き作業ができるようになりました。

現在、1日利用者平均14名の体制で作業を行っています。休憩時間も今までの半分以下になりますが一生懸命に頑張っています。また作業所では続けて作業に関わなかつた方も市場へ来たら働くなければいけないという意識からか休む事もなく作業に入られるだけでなく、手薄なところへ回って作業する方や、少し難しい計量や再計量に自ら関わろうとする方も出てきました。



ニンジンの 巻入れの様子

今後は、利用者だけで作業でできる体制や作業に関わりにくい方の問題など様々な課題もありますが、さらに利益を伸ばしていく利用者さんの工賃向上に努めていきたいと考えています。

ひかり福祉会
研究集会 開催

またI-L-Oの提訴の件では、日本政府の「障害者は失業者である」とする姿勢の問題点と大きな誤りが説明されました。私自身もこの政府の考え方を聞いた時には大きな怒りを感じたことを覚えています。提訴以外でもディーセントワークや情勢の概要も分かりやすい言葉で講演いただきました。さらに「東日本大震災での支援活動についても知りたい」との事で当法人からも参加したJDFの被災地支援についても話され、さくらんぼの会を含む愛知県からの支援活動の様子も報告くださいました。

2月23日(土)に長浜市民文化センターにて第31回研究集会が開催されました。今回は、「他の地域での先進的な取り組みを聞く」ということで愛知県のさくらんぼの会より大野健志氏をお招きして講演いただきました。

さくらんぼの会ではこれまで弁当事業をおよそ10年に渡つて展開し、その間着実に地域に根づいていった様子が報告されました。最初は素人が作つたような弁当が様々な経験や専門家のアドバイスを受け、現在のように評価がされるまでになつてきました。過程や視点は、当法人にも大いに参考になると感じられるものでした。



講演いただいた大野氏
(きくらんぼの会)

続いて「成功体験を共有して職員の士気を高めていこう」との視点から、ワークセンター絆から地域に一般就労した利用者の2年に渡る取り組みと、その結果どのような成長があつたのかといった事例報告と実際の就労しているVTRによる報告がされました。映像の中で彼女はいきいきと衣料品を仕分けする仕事に取り組み、ワークセンター絆での支援の成果と彼女の努力に感動するばかりでした。なかなか日常で実感するのが難しい成功体験を皆で共有できた

大野さんの話から、現地で障害者の置かれたリアルな状況、これからもまだ支援を必要としている被災地の障害者の様子がまさまで伝わってきました。講演ではILO提訴といったマクロな視点に立った問題提起から、利用者一人ひとりへの支援といったミクロな視点までわかりやすくお話ししていただき参加者の視野も広がるきっかけになつたのではないかと感じられます。

それぞれ立場は違えど「利用者に少しでも快適に暮らしてほしい！」と願う思いは皆同じなので、各分散会からの報告では不平や不満ではなく前向きな意見が多くみられました。これらの意見が少しでも将来計画に反映され、来年度の研究集会で人職員が一同に集まり、今回話し合つたことが一步でも二歩でも前進したと報告できる集会となるよう日々の実践に取り組んでいかなければと気持ちを新たにした。する研究集会となりました。

そこで、それぞれの職員のモチベーションが少し上がつたのではないかでしょうか。その後、昼食を挟んで当法人の第5次ひかり福祉会将来計画について説明があり、特に高齢化への対応や生活を支える分野での取り組みに重点を置いた計画の骨格が報告されました。

分散会では「集約された意見を第5次将来計画に反映させよう」との狙いから参加者全員がそれぞれ「就労」「くらし」「高齢・加齢」の分散会に分かれ、日頃取り組んでいる事や、今後の取り組みや問題点について話し合いました。大きなテーマなので2時間ほどで結論し尽くしたわけではなくつたですが、普段なかなか意見を交わすことができない立場の者同士が忌憚なく話し合えたこと貴重な時間となりました。

ショートステイとまと

11年10月から、ひこねたんぽショートステイ事業をはじめています。1年余り経過し、定期的に利用される方や家の用事で少し利用をされる方、将来的なことを考えて若い時から利用希望される方などを受け入れています。定員1名ということで、利用開始前に食べたいもののリクエストを聞き、少しでも快適に過ごしてもらえるように気を配りながらすすめています。ただし現在は、スタッフの確保がままならないため四苦八苦しています。関心のある方は、お問い合わせを!

ホーム職員 急募!

▼やりがいを感じたい方
▼定年退職された方
(65歳まで応募可能)

ホームつてなに? 昼間は働いている障害のある人が、夜間や休日を過ごす生活の場です。そこでは、スタッフにより食事や入浴の際に必要な介助をしてもらったり、日常生活を送るときの困りごとの相談についてもらったりしながら暮らしています。

◆仕事の内容

食事づくり、食事・排泄・入浴の介助、余暇の支援、話し相手など

◆終業時間

月~金曜日 15時~翌日9時

土日・祝祭日 24時間

●上記の時間帯のなかでシフトを組んでいます。

◆賃金

7時~21時 時給: 800円

21時~翌朝7時(夜勤): 3700円

●通勤手当、時間外勤務手当など

◆就業場所

ひかり福祉社会が経営する8ホームのいずれかです。

【所在地】長浜市2カ所、米原市1カ所、彦根市5カ所

◆連絡先 担当者:出川紳吾 (090) 7768-6681 ※お気軽にご連絡ください。

日記を書いてみませんか?

理事長 立岡 誠

つぶやき

な子どもたちが収容されている児童養護施設の指導員として再出発しました。

3年間勤める中で、可哀そうと思うのは間違っていた事を子どもたちから教えてもらいました。そう「みんな同じ人間」だったのです。

私が日記を書き始めたのが大阪の大きな機械工場に集団就職し働きだした17歳の頃です。会社の仕事が終わり夜間高校に通学するのですが、途中にバチンコ屋が並んでいて元気な軍艦マーチの曲に誘惑され学校に行けず、思わずバチンコに興じてしまう。日記にはバチンコが大事か、学校が大事か…そんなつまらない悩みが真剣に書き残されています。

そんなこんなしながらも夜間の高校を何とか卒業したのですが、その頃は青春時代の真只中、何も解らず会社に入ったがこのままの人生で良いのか迷っていました。団塊の世代の私たちが働き出した頃、日本の経済は急成長します。当時10万円を10年間定期貯金しておくと利子がついて20万円近くにもなったものです。

この養護施設で素敵な保母さんと出会いました。それが今、妻、妙子さんです。「彼女を誘つて比叡山にドライブに行く。平日だし、雨降り、僕と彼女だけである。秘宝館を見る。彼女と仏教の思想についてお互いの意見を語り合う。そんな中で彼女の正しい生き方、素直な性質を見て内心喜ぶ」これはS46年1月22日(金)42年も前の日記です。





かりんとう製造の様子

これまで、ひので作業所のオリジナル商品として、皆様に親しんで頂いていた、ゆば屋さんの豆乳・おかからで作っている「豆乳おかからかりんとう」ですが、今年の2月から、ひかり園で製造販売を開始しました。

ひかり園では、この間焼き菓子製造のための作業室の改修や備品の整備を進めてきました。また、パン・焼き菓子製造グループのメンバーをパン班と焼き菓子（ラスク・かりんとう）班の2班に分け、役割分担を行っています。

西尾知子（ひかり園）



豆乳おかからかりんとう

平成25年4月から

障害者優先調達推進法

がスタート！



障害のある人が自立した生活を送るために、就労によって経済的な基盤を確立することが重要です。このためには、障害者雇用を支援するための仕組みを整えるとともに、障害者が就労する施設等の仕事を確保し、その経営基盤を強化することも必要です。

「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進に関する法律（障害者優先調達推進法）」は、国や地方公共団体等が率先して障害者就労施設等からの物品の調達を推進するよう、必要な措置を講じることが定められ、平成25年4月1日から施行されることになりました。

◆私たちひかり福祉会の事業所においても国や滋賀県、湖北・湖東の各市町などからの仕事が受けられるように準備をしていきます。

行政等からの仕事が登注されるように市民の皆さまのご協力をお願いします。

お知らせ

豆乳おかからかりんとう
（ひかり園で製造・販売を開始）

ひかり福祉会及び各事業所への

御寄附ありがとうございました (2012年11月1日~2013年2月28日 敬称略・五十音順掲載)

カーブス 関西ハム 湖北母親連絡会 金比羅宮慈眼寺 ジーケーエス
 JA レーク伊吹(女性部) 滋賀文教短期大学学生 浄土宗滋賀教区寺庭婦人会
 大近電工株式会社 竹生製菓 戸倉商事(株) トップ・ワン豊郷店
 豊郷町赤十字奉仕団 長浜養護学校 はびねす保険プラス (有)マルベン
 宮崎商店

浅野 満恵	木村 昭子	田中智比呂	長谷 貞夫	松島とも子
生田氏	木村 千絵	田中 立子	花井 和久	峯岸 文雄
伊藤 紀子	木村 浩	田中 久栄	藤田 久子	宮川 鈴香
伊吹 民代	久保 忠三	谷田みさえ	藤野 信一	宮本 正次
居林 浩	下野 修二	辻 俊彦	藤野 信敏	村田日里美
右川 雅志	白石 剛	中川由紀子	疋田 憲治	村西志津子
小野 清美	塩飽登茂子	中島とも子	疋田 弘	本持 稔
禿 正孝	杉谷 美雪	中村 安夫	伏木 亜希	山岡 稔弘
川瀬 源信	杉原 裕子	西嶋 聰子	堀田 博行	山本 潤
北川 幸子	谷利 啓子	西村 勝巳	真川 義之	
北川 信雄	田中 佐和	根岸 稲夫	牧村 徹	匿名

社会福祉法人ひかり福祉会

《日中活動》

(湖北圏域) ひかり園、輝湖里、ひので作業所、友愛ハウス、ワークセンター 紋

(湖東圏域) たんぽぽ作業所、セルフひこね、HEART WORK結、工房ふれっしゅ、彦華堂

《ケアホーム＆グループホーム》

(湖北圏域) びわ、どんぐり、長浜かざぐるま、長浜里の家 米原螢の家

(湖東圏域) ひこねたんぽぽ、ひこね芹川、ひこねわたぼうし ひこねひまわり、ひこね七里

《日中一時支援・短期入所》

ひかり園、ひので作業所 ショートステイとまと

《相談支援》

障害者支援センターそら

働き・暮らしことー支援センター



編集後記



12月に政権が元に戻り、障害者福祉だけでなく、社会保障全般の雲行きも怪しくなってきました。

この間「私たちのことを抜きに、私たちのことを決めないで！」この言葉を胸に、運動を進めてきました。そして今後は、より一層運動の力が必要になってきます。

今、私たちにできること…それが今年で36回目を迎える国会請願署名だと思っています。1年目の私も署名の担当として活動を進め、今年の署名の学習会でも『署名活動の重要性』を学びました。新たな国會議員に届ける最初の署名活動です。1筆でも多くの署名を集め、私たちの願い・思いを訴えなければなりません。署名活動もいよいよ大詰め、より力を入れて取り組みたいと思います。

吉川 裕

発行人：関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

編集人：社会福祉法人 ひかり福祉会 長浜市鳥羽上町68-1

定価：30円